

2004年10月21日

京都大学未来フォーラム（第6回）を開催

京都大学では、恒例となった未来フォーラムの第6回を時計台記念館・百周年記念ホールで開催しました。今回は本学農学部卒業生の阪神高速道路公団理事長の木下 博夫氏に「都市の未来」をテーマに講演いただきました。木下氏は、人間が営む単位は家族であり、コミュニティであり、都市であり、国家であり、地球であること。いずれの単位についても相互に連携しており、切り離せないものであるとの立場から、長い歴史、変遷によって造られてきた京都という現代都市を構成する重要な要素の一つである道路について、分析、評価を行いながら、都市の未来を見据えた道路行政が必要であることを語られ、参加した約100名を超える参加者は熱心に聞き入っていました。

次回（第7回）は11月16日（火）に開催されます。